様式第４号

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	学校体育施設開放管理事業			コード	113502
２ 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者 伊藤　雅章

３ 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち	
		政　策	文化・スポーツの振興	施　策 スポーツの振興
	予算科目	学校体育施設管理事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	設置条例	岡谷市学校体育施設の開放に関する規則		

●事業の内容（DO）

４ 施設の概要・設置目的

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要（簡潔に）		市内小中学校体育館・校庭等
目的	対象者	市民等施設利用者
	意　図	学校体育施設利用者が、安全・快適に利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。

５ 施設の管理運営状況

指定管理者		28年度指定管理料	円
施設における通常業務	学校体育施設の使用許可、使用料の徴収、使用の減免許可、使用予約調整会議、学校体育施設の維持管理		
事業の実施内容	（28年度に施設で行った運営事業・自主事業など） 学校体育施設の使用許可、使用料の徴収、使用の減免許可、使用予約調整会議、学校体育施設の維持管理		
前年度の課題への対応	月１回開催される予約調整会議等を通じ、利用マナーの周知徹底を図った。		

６ 施設の利用状況

＊①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力）　＊②・③はどちらかの欄に記入　＊

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 施設稼働率	69.9%	65.1%	65.8%	
年間開設日数（日）	359	360	359	359
１日の開設時間（時間）	72	72	66	66
年間利用可能時間（時間）	25,848	25,920	23,694	23,694
年間利用実績（時間）	18,065	16,873	15,602	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（時間）	18,065	16,873	15,602	15,602
有料利用件数	4,635	4,251	4,047	4,047
無料利用件数	4,917	4,409	4,312	4,312
減免措置件数	8,513	8,213	7,243	7,243
④ １日あたり利用者数、件数	50.3	46.9	43.5	43.5
⑤ 施設利用状況の説明	岡谷小学校の統合等に伴う利用時間数の減			

7 コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		884,922	1,094,337	1,090,034	1,316,000
経常経費		884,922	1,094,337	1,090,034	1,316,000
臨時的経費		0	0	0	0
＊臨時的経費の説明					

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数（人）		0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト（①＋②）		3,284,922	3,494,337	3,490,034	3,716,000
前年度比			106.4%	99.9%	106.5%
財源内訳	一般財源	922,037	1,324,217	1,397,839	987,000
	特定財源	2,362,885	2,170,120	2,092,195	2,729,000
＊特定財源の説明		施設使用料			
④ 施設使用料年間収入額		2,362,885	2,170,120	2,092,195	2,729,000
⑤ 年間減免措置額		6,758,565	5,860,570	5,492,755	5,492,755
⑥ 受益者負担割合		1030.8%	733.8%	695.8%	624.8%
⑦ 活動一単位あたりコスト		182	207	224	
前年度比			113.9%	108.0%	
⑧ コストに関する補足説明					

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。　１日あたり利用者数、件数　前年度比　92.7%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。　施設使用料年間収入額　前年度比　96.4%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること） 利用団体のマナー向上。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 予約調整会議等を通じマナーの周知徹底を図るとともに、個々のケースに関しても適切な対応を実施する。 また、登録団体による利用マナーの向上を図る。
改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B

13 大規模修繕の予定

予定事業費	円	予定時期	
内容			

様式第４号ー附表

平成28年度決算

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	113502	学校体育施設開放管理事業

１ 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
消耗品費	265,291		265,291	体育館ランプ等
印刷製本費	41,148		41,148	使用申請書印刷
光熱水費	298,311		298,311	夜間照明
修繕料	347,566		347,566	小規模修繕
保険料	2,934		2,934	火災保険料
使用料及び賃借料	134,784		134,784	モップリース料
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	1,090,034	0	1,090,034	

２ 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.30		0.30	人
合　計	2,400,000	0	2,400,000	円

３ 特定収入

単位：円

項　目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	2,092,195		2,092,195	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	2,092,195	0	2,092,195	

４ 一般財源

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計
合　計	1,397,839	0	1,397,839

平成28年度決算

施設の運営コスト計算シート

事業名	113502	学校体育施設開放管理事業

１ 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

２ 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数			0.00	人
合　計	0	0	0	円

３ 特定収入

単位：円

項　目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

４ 一般財源

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計
合　計	0	0	0